

APEX CLUB

12/11 第34号

『APEX CLUB』

発行 2012年11月1日(通算34号)
発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
ホームページ <http://www.apex-sangyo.jp>
発行人 元木 貢 (編集委員) 山口力広、高塚章夫
佐々木 健 (事務局) 齊藤久美

ご用命・お問い合わせ先
アペックス産業株式会社
電話 03-3455-6474
FAX 03-3455-6558
＜詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください＞
URL <http://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。
キリトリ線

ギャラリー

英国保存鉄道の旅

岩間 敏

作家・東京地裁調停委員



☆作者プロフィール

1946年鳥取県生まれ。早稲田大学法学部卒。日本経済新聞社、トヨタ自販研究所を経て石油公団へ。通産省調査員、ハーバード大学客員研究員、石油公団パリ事務所長、同ロンドン所長、理事等を経て、一橋大学大学院で近現代政治史を研究中。東京地方裁判所調停委員。著書『石油で読み解く完敗の太平洋戦争』朝日新書、『世界がわかる石油戦略』筑摩新書、電子書籍写真集『英国保存SLの旅』安曇出版、他

☆作者寸言

鉄道発祥の国、英国には今も100を超える蒸気機関車路線、保存鉄道がある。最長はウェールズ地方を走る全長40キロのウェルシュ・ハイランド鉄道。最高峰はスノードン山岳鉄道、標高1,085mまで登る天空のアプト式鉄道。鉄道創世期の1860年代から蒸気機関車黄金期の1950年代の機関車、数百両が国内を走っている。
保存鉄道の大部分はボランティアによる運行。土曜・日曜・休日には、会社員、公務員、弁護士、医師、運転手等、様々な職業の人が鉄道員の服へ着替えて業務に就く。ビッグホビーであり、村興しであり、協同作業でもある。そこには英国人の地道な生活を楽しむ姿が見出せる。英国を訪れたらぜひ保存鉄道の乗車をお勧めする。

東日本大震災のその後

昨年、膨大な冷凍魚が流され腐敗したため、腐肉から発生するクロバエ類が大量発生。延べ九千人のペストコントロール協会の会員が全国から集結し駆除にあたった。
その甲斐もあつて八月にはハエ問題は終息し、環境大臣や地元自治体から感謝状をいただいた。蚊も被災地では増加したが、幸い感染症の発生はなかった。
今年も引き続き調査が行われているが、ハエや蚊は昨年並みに戻ったようだ。



津波でネズミもまた甚大な被害を受け、昨年はまったく見られなかったが、四月から瓦礫に巣を造り出したとのこと。九月初旬、岩手県と宮城県の合計十五カ所の瓦礫置き場で捕獲を試みたところ、八七%で捕獲され、ドブネズミが七五%、クマネズミが二五%だった。
ドブネズミは地表近くで生息している種類で、津波により壊滅的な被害を受けたにもかかわらず、二年目で早くも復活、建物内で生息するクマネズミも建物が破壊されたが、復活の兆しを見せている。それに比べ、人間の復興はどうなるのだろうか？
(写真は、環境大臣から感謝状を授与された時のもの)

スズメバチの引越し

害虫防除業では都心でも「スズメバチの駆除」という仕事が多くあります。
当社でよく扱うスズメバチの種類は、ほとんどが庭木等によく巣を作るコガタスズメバチで、軒先や木の洞等に巣を作るキロスズメバチの駆除を行うこともあります。中には土中に巣を作るオオスズメバチの駆除依頼もまれにあります。
さて一度、スズメバチの巣を駆除し、もう巣がないのに、巣がみるみる再生するという事件がありました。ある公園のレストランの軒先にキロスズメバチの巣があり、巣を撤去した二日後、現場を見てみるとキロスズメバチが数匹、巣があつた。その日の夕方には立派なボール状の巣が完成していました。
キロスズメバチは最初に作った巣が狭くなると、引越しをします。その引越し中に、引越した先の未完成の巣を駆除しても、元の巣にはまだハチが残っているの、引越した先の巣をどんどん作り直してしまいます。これが、巣が再生していく原因なのです。



この場合、元の巣を探して駆除することが一番ですが、元の巣が見つからないこともあります。スズメバチといえば、もちろんオオスズメバチの駆除が一番厄介ですが、キロスズメバチの引越しもなかなか駆除を大変なものにしてくれます。

創業者を偲んで



平成二十四年六月九日、当社創業者である元木三喜男が九十一歳で天寿を全うしました。

創業者は大正九年生まれ。幼少時代を台湾で過ごし、青春を全寮制の東京高等商船学校で謳歌。第二次大戦で繰り上げ卒業し、駆逐艦・浦波に航海士として乗船。軽巡洋艦夕張を経て、若干二十五歳で海軍大尉・航海長として波号潜水艦に乗船し、南太平洋の警戒にあたりました。その時に覚えた、インドネシア語で歌う「かわいいあの子は誰のもの」が持ち歌でした。
終戦後、一時、占領軍の通訳をしたりしていましたが、半年間で辞めました。進駐軍の本部があつた第一生命ビルの駐車場に何気なく入ったところ、偶然、米軍の昆虫学者にお会いして、ペストコントロールを知り、彼の後押しもあつてPCO(害虫防除)の会社を興し、その後、有志とともに全国協会の設立に奔走。初代理事長に就任。昭和四十七年に社団法人として認可され、初代会長として今日の業界の礎を創り上げました。来年三月には公益社団法人となる見通しです。国民を有害動物による感染症や経済的な被害から守る重要な業界に育てたことに対し、心から敬意を表する次第です。

虫めがね

おしやま虫 Q&A



クロゴキブリ
御器嚙り(ゴキカブリ)を語源とするゴキブリは、その名の通り台所で活躍?する害虫です。

Q ゴキブリにはどんな種類がありますか？
A 日本には五十八種のゴキブリが生息していますが、よく目にするのはクロゴキブリ、チャバネゴキブリ、ワモンゴキブリの三種です。主にクロゴキブリは一般住宅の台所、チャバネゴキブリはビルの飲食店、ワモンゴキブリは都心では下水道のマンホールの中などに生息しています。

Q ゴキブリの繁殖力は？
A 油断するとおぞましい程に増えるのがゴキブリです。チャバネゴキブリの成虫の寿命は約六ヶ月、産卵回数は四〜五回、クロゴキブリの成虫は二百日後の寿命の中で二十から三十個のカプセル状の卵鞘を産みます。一個の卵鞘には平均二十四個以上の卵が入っているため、産卵回数を掛けると大変な数になります。

Q ゴキブリの駆除方法は？
A ゴキブリを見かけた箇所や糞の黒いシミ、黒い小さなツブツブがたくさんある箇所に粘着式トラップ(ゴキブリホイホイの類)を仕掛けるか、虫体に即効性のスプレーを直接噴霧します。繁殖が進んだ場合にはステーションタイプのベイト剤を配置すると効果的です。

ゴキブリの繁殖を防ぐには、薬剤を使用するのも効果がありますが、餌となる残飯や塵芥、糞になりやすい段ボール・新聞等の紙類を片づけて繁殖させない環境作りが重要です。